

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	部局高等教育の活性化 ― 電子ジャーナルによる研究活動支援と広報活動促進				
研究組織	代 表 者	所属・職名	大学院食品栄養環境科学研究院 ・教授/研究院長	氏名	三浦 進司
	研究協力者	所属・職名	食品栄養科学部 ・教授/学部長	氏名	伊吹 裕子
		所属・職名	食品栄養科学部食品栄養科学専攻 ・教授/専攻長	氏名	熊澤 茂則
		所属・職名	食品栄養科学部環境科学専攻 ・教授/専攻長	氏名	谷 幸則
	発 表 者	所属・職名	大学院食品栄養環境科学研究院 ・教授/研究院長	氏名	三浦 進司

講演題目
部局高等教育の活性化 ― 電子ジャーナルによる研究活動支援と広報活動促進
研究の目的、成果及び今後の展望
1. 研究目的 本学の目標である静岡県の最高学府としての自覚を持ち、独創性豊かで高い学術性を備え、国際的な評価に耐え得る研究を推進することを目指す。 また、昨今、向学心を有する大学院学生(特に博士後期課程)を獲得するために、大学院の広報活動の重要性は高くなっている。特に研究成果を効果的に発信することは、学生の定員数充足だけでなく、さらなる産学連携の推進や研究費の獲得の観点からも極めて重要であると考え。大学院食品栄養環境科学研究院における広報の手段としては、冊子体（大学院研究院案内など）、ホームページ、教員による大学院説明会（本学での開催）などを活用してきた。しかしながら、これらの手段による効率的な広報には、極めて多くの事務作業が必要となってくる。そこで、広報活動に関する専門技術的な作業を業者委託することで、教員の主要職務である教育・研究活動に費やすことができる体制の整備を行うことを目的とした。 2. 研究成果 高等教育、研究の推進において不可欠な情報資源である電子ジャーナル費として本予算を主として充てた。また、学生実験・実習を円滑に実施するための機器購入、更に広報活動として、学部・大学院ホームページについても本予算を有効的に活用することができた。 3. 今後の展望 研究活動の活性化にはそれを支援する電子ジャーナルが不可欠である。電子ジャーナルの契約費用負担をおこなうことで、本局教員の研究がより一層発展することを期待する。また、学部・学府・専攻・研究院の活性化のためには、教員の主要職務である教育・研究に干渉しない体制の整備が望まれるため、今後も限られた人員配置の中で、支援体制を整えていく。